

西日本豪雨災害以上の被害、台風 19 号 被災組合員支援のカンパを呼びかけます

武田事務局長が広島「災対連」のボランティア活動に参加しました

広島のダンプ労働者の新聞

ダ ン プ 通 信

日本のあちこちで百年に

一度を超える確率の降水量

九月の台風 15 号につづき一〇月は、超大型の台風 19 号、そして 21 号も、東日本を中心に広範な地域に大きな被害をもたらしています。台風 19 号では「百年に一度を超える確率の降水量」が、広範な地域に甚大な被害をもたらしています。

地球の温暖化は間違いなく進んでおり、日本でも今夏の平均気温は地域によっては二度近く高くなったと言われます。被害の規模は昨年の西日本豪雨災害を上回り、「東日本大震災の規模に匹敵する」と言われています。

大規模停電や河川の氾濫による堤防決壊



千曲川のはんらんで汚水などを被り全滅のリンゴ園の写真 (長野市豊野、10 月 23 日)

壊・家屋の流出や倒壊が相次ぎ、被害の全容はまだ明らかになってはいませんが、昨年の西日本豪雨災害を上回る過去最大規模となっています。東北、東海、関東などのダンプの組合員が豪雨被害に遭っている模様ですが、建交労中央本部も被害の実態把握を進めるとともに一〇月二三日付で「自然災害支援カンパ」を全国に呼びかけています。

災害支援カンパを呼びかけます

昨年の「西日本豪雨災害」のときは、被害に遭った広島ダンプ組合員が建交労の全国のダンプの仲間支援カンパを受けました。広島ダンプ支部としても、お礼に応える意味でも災害支援カンパに取り組みことにしました。いろいろな機会にカンパを呼びかけますのでよろしく願います。

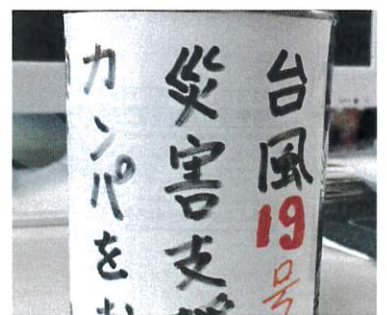
武田事務局長が大奮闘！「広島災対連」支援ボランティアで長野市へ

広島「災対連」と広島県労連は、一〇月二二日〜二五日まで、台風 19 号による記録豪雨による千曲川の堤防決壊で被災した長野市への「災害ボランティア」を派遣、六人が参加しましたが、建交労広島ダンプ支部から武田喜成事務局長が参加、床上浸水などで被災した家の家財道具や床下

床下の泥を土嚢袋に入れて運出す武田事務局長の雄姿 (10 月 24 日 長野市豊野にて)



全日本建設交通一般労働組合広島県本部
広島ダンプ支部
〒七三〇〇八五三
広島市中区堺町一丁目一九三〇三
TEL (〇八二) 二三五一三〇五一
FAX (〇八二) 二三五一三〇五二
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp



台風 19 号被災者支援カンパにご協力ください。(10 月 25 日 組合事務所にて)

建交労広島ダンプ支部は、10 月 26 日 (土) の合同役員会で、武田事務局長の被災地長野でのボランティア活動の報告をうけた建交 **さっそく支援カンパ 7,500 円集約、合同役員会で訴え** 労中央本部や県本部からの支援カンパの呼びかけに応じてさっそく役員にカンパを呼びかけたところ、積極的に応じていました。

徒 然 草

◆今月一日に消費税が 10% に引上げられた。「軽減税率」の導入で食料品については当面(来年六月まで)8%のままだと思っていて日頃食料品を買うことが多いため、先日百円ショップで 108 円出したところ「すみません、これは 110 円になりました」と言われ、あわてて 2 円を追加した ◆5% ポイント還元を貼っている店も見るとは見るが、ちなみによく行くラシヤンチ屋さんに聞くと「ポイントは手続も面倒だし、食材店も当面は据え置きというから値上げしない」と言っているが、いつまで持ちこたえられるのか分らない ◆「景気対策」の目玉として導入されたポイント還元は中小業者で買い物時にキヤッシュレスで支払うと 2〜5% のポイントがもらえるという仕組み。東京都内でも参加率は 1〜2 割程度に過ぎないという。これは格差とともに不公平を助長するものである。10% に上がったら営業できないと消費税の増税前に閉店した店もある ◆そもそもなぜ景気は一向に良くならないのに、導入すれば景気悪化を招くことが明らかと予想されるのに消費税を引上げるのか ◆消費税が導入されて確かに大企業の税負担率は大きく下がっている。逆に内部留保は 450 兆円を超える額となっている。(M)

安倍9条改憲を必ず阻止し、全ての要求闘争を前進させる強大な建交労をつくろう

建交労広島県本部第二一回定期大会に三六人参加

建交労広島県本部は一〇月六日(日)広島市内で第二一回定期大会を開催しました。大会には来賓三人と代議員、傍聴者などあわせて三六人が参加しました。中藤久雄県本部委員長は、「一〇月からの消費税10%引き上げ強行で、最低賃金の引き上げも帳消しになった。軍事費は右肩上がり、大企業の内部留保は伸び続け、格差はますます広がりがり続けている。共同のたたか

未組織労働者の組織化は労働組合の役割

いを広げ安倍政権を一日も早く退陣させよう」とあいさつ。広島県労連の神部泰(やすし)議長は「学校現場の不登校やいじめや引きこもり、生きにくさは、大人社会の反映だと思う」と述べ、「経済的な格差は子どもの健康格差にも現れている」、「消費税は将来的にも廃止させる以外ない」と強調しました。国土交通労組中国建設支部の小柳忠史(ただふみ)副委員長からあいさつと連帯のメッセージが読み上げられました。日本共産党からも激励と連帯の挨拶を受けました。

て「安倍政権は退陣させることが必要」と強調するとともに、一九九九年の建交労結成の意義にもふれ、「未組織労働者の組織化という組織の特色を生かして組合員拡大を大いに進め、来年の大会を前進で迎えよう」と呼びかけました。

討論では、広島ダンブ支部の小林豊教議長や武田喜成事務局長がダンブ支部のキャラバンの取り組みや組織拡大の取り組みなどについて報告しました。鉄道支部、福山地域支部、三原支部、などからも発言がありました。

大会では執行部提案が全会一致で採択され、小林豊教副委員長、山田昭夫書記長、武田喜成執行委員が再任されました。



第4回建交労中国地協フェスタ

に参加し交流し仲間づくりを進めよう

◆とき 11月30日(土)13時~12月1日(日)

◆ところ 山口県美祢市「秋吉台」

○参加費 一人13000円

一日目は「秋吉台国際芸術村」にて全体会(学習交流会)夕方は「家族旅行村」にて夕食交流会、二日目は2つの班に分かれて ①秋芳洞を散策、②ピザ作り体験を予定しています。参加希望者は組合にご連絡ください。

地元組合員も積極的に参加!

呉市キャラバン行動に六人が参加

建交労広島ダンブ支部は、七月に続き九月三日(月)の一〇時三〇分から呉市役所にダンブキャラバン要請行動を行いました。小林豊教議長、岩男昭副議長、武田喜成事務局長など六人が参加しました。地元の組合員は三名が参加しました。昨年は豪雨災害の土砂運搬で過積載や長時間



運動の常態化によりによりダンブ運転手の労働状況が悪化しているのに対し、組合員が、今年初めてキャラバン行動として要請行動しました。

組合活動日程

- 一・一 憲法の集い(安田純平氏講演会)
- 一・二 広島県民集会(一・一時・県庁前広場)
- 一・三 県労連自治体キャラバン
- 一・四 建交労中央行動
- 一・五 仲間づくり交流集会
- 一・六 企業組合広島定例会(二〇一九年交通安全講習会)
- 一・七 建交労女性部総会(広島市)
- 一・八 生公連事務局会議
- 一・九 企業組合呉定例会(二〇一九年交通安全講習会)
- 二〇二〇年
- 一・一 企業組合広島定例会
- 一・二 企業組合福山定例会(二〇一九年交通安全講習会)
- 一・三 企業組合呉定例会
- 一・四 広島県労連三〇周年レセプション
- 一・五 全国ダンブ部会総会(二〇二〇年)
- 一・六 建交労広島県本部春闘討論集会



労働組合にはいて安心して働ける環境をつくろう (組合員拡大のために作成され宣伝チラシです)